

令和2年度 第3回支部運営審議会

1. 日 時：令和2年9月25日（金）19：00～21:00
2. 場 所：web会議
3. 参加者：支部局 小山・西川・樋笠・有吉（司会：小山、書記：有吉）
支部長 清原・戎・川端・水田・田中・三野・峯・宇仁菅・阿部・畑山（欠席者：森川）
敬称略・HP順

4. 議題

(1) 報告事項：

①各部・支部の会議議事録の公開

- ・会議議事録をHP上に公開する方針が理事会で決定される。
- ・支部の議事録は支部ページにアップすること。アップは各支部で行うこと。
- ・注意事項として、研修会の講師氏名については、内諾をいただくまでは無記名とする。
運営委員の氏名については特に記載して頂いて構わない。
- ・HP上にアップする前には担当理事に確認してもらうこと。
- ・開始時期については、士会の議事録の様式（ファイル等）を統一するため、現時点において未定。

(理事会確認)

- ・議事録の閲覧の範囲はどこまでとするか？（例えば、pass付で会員のみとするのか）

②今年度の予算執行残高の概算

- ・年度末の予算残高について概算報告（COVID19の影響の把握と次年度の予算の検討）

③新人発表会時の士会挨拶について

- ・今年度も実施の方向
- ・方法については未定

(2) 審議事項：

①新人発表会の開催方法について（情報交換）

質疑応答方法

1 例：グーグルフォームを使用

質問者の所属と氏名、セッション番号、発表者名、質疑内容の記載
一定期間質疑を受付、最終スプレッドシートで取りまとめ、発表者に確認。

参加確認方法

1 例：グーグルフォームを使用

参加者の参加登録を申請するというフォーマットを作成

①会員ID ②氏名（漢字・カタカナ） ③生年月日 ④職場 ⑤メールアドレスなど

新人発表会当日、小1時間程度経過した時点でグーグルフォームにつながるURLを提示し、
参加登録してもらった時点で参加とみなす。

2 会場を活用する場合

1 例：ブレイクアウトルームを使用すると、参加者の自由な行き来が困難。ホストがブレイクアウトルームへ振り分ける必要がある。第1会場と第2会場のホストを使用すると参加者の自由な行き来が可能。ホストの許可が、常にPCの前にいる必要あり。

オンデマンドによる発表について

質疑応答をメールで行うことに問題ないと考えているため、近畿学会でもオンデマンドの手段が検討されているため、可能と考えている。

発表会・デモ日の日程の調整について

3月7日、デモ日について、グーグルフォームで確認する。(淡路は省いても問題なし。)

著作権について

研修部が作成したオンラインの利用規約および注意事項の資料の使用許可あり。

ZOOM の使用方法について

山本先生が作成された ZOOM の使用方法のスライドの使用許可あり。

動画編集の業者委託について

支部の負担軽減目的で、業者委託が可能かどうか理事会で検討してほしい。

- ・神戸東：スライド（メモ付）を PDF に変換し、HP に掲載。
 コメンテーター等の閲覧者が、後日メールで質疑応答。
 質疑応答の内容の掲載については、検討中。
 口述発表の機会については各施設で実施を依頼。
 HP の仕様を変更すれば、セッション毎にファイルをフォルダに振り分けられる。
 他支部も同様の対応の希望あれば、その時期のみ HP の仕様を変更する（三本先生より）
 入退室管理については検討中。
- ・神戸西：発表会本番前に動画、スライドの動作確認のため、デモ日を設ける予定。
- ・阪神南（尼崎）：説明会をズームのレコーディング機能を使用し、説明会を動画にしており、HP へのアップの許可待ち。会場とオンライン、YouTube 配信の 3 つのハイブリッドを検討中。ズームで発表する日を設定し、レコーディングしたものを後日配信。編集は動画編集ソフトでできる。
 チャットでの質疑応答は発表を中断させる可能性あり。
 1 端末で 5 人参加の施設もあり、グーグルフォームの記載漏れがみられ、メールが確実に早いと思われる。
- ・阪神南（西宮・芦屋）：パワーポイントに音声録音し、それを MP4 に変換、セッション毎に編集し、PASS 付きの YouTube で一定期間オンデマンドで視聴する。支部が選定した採点者に、演題に点数をつけ、メールにて質疑応答を検討。
- ・東播磨：発表者に発表を録画してもらい、その録画動画を ZOOM で配信。後日、質疑応答。
- ・中播磨：新人の先生方への書面による伝達方法について意見を聞きたい。
- ・但馬：パワーポイントを録画し、ZOOM または YouTube で配信しながら、SLIDO を活用し、意見交換をリアルタイムでできないか検討中。

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進に関する課題

- ・41 市町との顔合わせについて各支部の現状

淡路支部 ：顔合わせについては 10 月以降を予定

北播磨丹波支部：行政との連携はある程度できている。

非常勤の PT がいる市町もあり、担当窓口の PT との顔合わせ済み

三木市は 5 施設と病院と行政が契約を結び活動を開始している。

小野市、加東市は圏域リハ事業で体操等の活動を開始している。

加西市は加西市民病院と行政と連携し、活動をしている。

多可町は多可日赤病院と連携し、活動をしている。

加東市、三木市、小野市は OTST の連携も取れてきつつある。

神戸東西支部 : 神戸市リハ職地域支援協議会を中心に活動中。

今後顔合わせが必要であれば、実施していく。

リハ職地域支援協議会より OTST 士会にも窓口の配置について打診中。

西播磨支部 : リハネットが各市町に発足しており、行政との連携は済んでいる。

たつの市は時本先生が担当しており、次年度より予算化の見込み。

阪神南尼崎支部 : 医療介護連携協議会に POS 連絡会の会員として活動中。

支部が POS 連絡会や圏域リハの連携にどう関わるかが課題

介護予防課の担当者との顔合わせ済み (次年度の活動については未定)

- ・ PT 士会の担当者、POS ネットワーク、圏域リハとの連携の中で活動
- ・ 圏域リハと連絡を取りながら、市の担当者への挨拶回り
- ・ 次年度の各市町の活動に、PT をアピール (通いの場でのフレイル啓発など)

③その他

- ・ 承認 但馬支部 阿部支部長 (今年度退任) 後任 公立豊岡病院 伊原 充晃先生
 - ・ 未承認 西播磨支部 峯支部長 (今年度退任予定) 予定 佐用中央病院 反橋
- 支部運営委員会で検討して、再度審議会にて審議することとする。

- ・ 支部活動 (課題、新しい発想や発展的な意見など) について、支部長から意見が欲しい。
担当理事・局長にメールで 10 月の第 1 週目をめどに意見をください。
- ・ 神戸東・西支部で、8 月 18 日に神戸中央市民病院の本田先生・岩田先生を中心に、各病院でコロナウィルスに関する意見交換会を実施。10 月中に第 2 回目を予定。
- ・ 公益事業の T シャツの購入については、本年度作成しても差し支えない。(西播磨支部)
- ・ 承認 ミニコミ誌の印刷を外部委託したい (西播磨支部)

以上